

地域と共にある学校づくりを目指して

令和3年12月

NO.3

銭函中学校地区4校だより

つなぐ

張碓小学校	校長	加藤 達子
桂岡小学校	校長	鈴木喜代志
銭函小学校	校長	小林 稔史
銭函中学校	校長	山崎 徹也

小学生 銭函中へ 生徒会児童会合同会議

銭函中学校 体験入学 10月29日(金)

4校合同

11月29日(月)

来年度、銭函中学校に入学予定の児童 64名が、銭函中学校にやってきました。

緊張した面持ちで、授業見学や中学校生活の説明を受けました。中学校生活の説明の中には中学生からのメッセージもあり、食い入るように画面を見つめていました。

また、数学の授業も体験。小中学校の9年間のカリキュラム編成を意識して、「図形」領域で授業を組み立てました(裏面には授業で使用したプリントを印刷しております)。

児童の皆さんは、「ピリピリしていると思ったけど、わいわいした雰囲気楽しそうだった」など、好意的な感想が多く寄せられました。



銭函中生徒会と銭函小・桂岡小・張碓小の各校児童会メンバーがオンラインにて集結。11、12月は小樽市が「いじめ防止強化月間」と位置付けていることを受けて、インターネットを介したいじめの防止について話し合いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点によりオンラインにて行ったため、若干の話しにくさはあったと思います。それでも、参加した24名は、熱心な議論を展開しました。「ネット利用時間を長くしすぎない」、「人の嫌がることは言わない、書かない」、「親との約束を守る」などを確認しました。



コミュニティ・スクール説明会

11月26日(金)

コミュニティ・スクール制度の説明会を銭函中学校図書館にて開催しました。講師として北海道科学大学教授の出口寿久氏(文部科学省CSマイスター)、小樽市教育委員会職員をお招きし、説明を受けました。地域の皆様、保護者、教職員22名の皆様が参加して下さいました。

この制度は、保護者や地域住民が学校運営のための意見を交流し、学校の教育活動の手助けを行う組織である「学校運営協議会」を設置した地域参加型の学校づくりのことです。この学校運営協議会は、学校の「応援団」として学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりします。これにより学校が家庭や地域と一緒に学校運営のための意見を交流し、子育ての共通目標を考えて学校教育活動の充実を図ります。

小樽の未来を担う子供たちを「みんな」で育てていこうという取組です。

